

# 届けたい想いに、秋田を添えて

株式会社 私の絵本カンパニー

〒010-0951 秋田県秋田市山王2丁目6-25  
TEL 070-3616-4677 / <https://akita.furusato-denpo.com>



「ずっと手元に  
残しておきたい  
贈り物です」と  
北林さん

## 秋田で育んだ絆に、 秋田を添えてお届けする“ふるさと電報”



### 地域経済の循環を促したい

“私の絵本”事業等、ユニークなビジネスを展開する起業家・北林さんが、秋田魁新報社の子会社 さきがけデジタルと共に今年6月から開始した新サービス“ふるさと電報”。台紙に秋田杉を用いており、縁のある人ならきっとふるさとを思い起こす逸品だ。

「人生の節目で送る電報は、地域で育んだ絆への贈り物。けれど、ほとんどは大手事業者が担っていて地域経済が回らない。その仕組みを変えたかったんです」。

帰属意識を刺激するビジネスアイデアの一つとして電報事業の構想はあったものの、北林さん個人で実現するにはハードルが高かった。そこで目を付けたのが、新聞社が持つリソース。例えば弔電で必要な情報は、すべて新聞のおくやみ欄に掲載されている。事業者にとっても利用者にとっても一番使い勝手の良いサービスとは何かを、突き詰めて考えた北林さんが、事業計画を持ち込んだ先がさきがけデジタルだった。

「幸いにも地域経済の一翼を担えるものだと、賛同していただきスタートできました。事業母体としての調整をさきがけデジタルさんに、システムやデザイン部分に関わる部分を私が担当しました。その過程では、ずいぶんセンターにもお世話になりました」。

### 一律商品から地域商品へ 目指すは全国拡大

事業理念は、地域の中で可能な限り経済をまわすこと。事業推進にあたっては、要所でセンターのアドバイザーの意見を参考にした。

「時間を見つけては色々なことを相談していました。それこそ、ロゴや台紙といった目に見えるデザインから事業コンセプトに関わる部分まで。第三者としての立場からの意見を聞くことで、自身が狙う事業の方向性の再確認ができました」。

地域発、全国初となったこの取り組みに、すでに他県からも視察や問い合わせが入っている。

「構想の段階から全国展開を視野に入れていました。事業として確立させ、秋田発のビジネスモデルとして発信していきたいですね」。



北林さんと共に事業を推進した  
さきがけデジタル 加藤社長



事業概要

産業デザインに関する助言

産業デザイン、製品開発、マーケティング等についての専門的な助言やデザイナーとのマッチング、コーディネートを行います。

お問い合わせ

知財・デザイン支援課  
TEL.018-860-5614